

令和5年度 第7回金谷区地域協議会

次 第

日時：令和5年12月19日(火)午後6時～
会場：福祉交流プラザ 第1会議室

1 開 会

2 議題等の確認

3 議題

(1) 「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について

(2) 自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」

(3) 地域協議会活動報告会の開催について

4 事務連絡

5 閉 会

【今後の日程】

第8回金谷区地域協議会

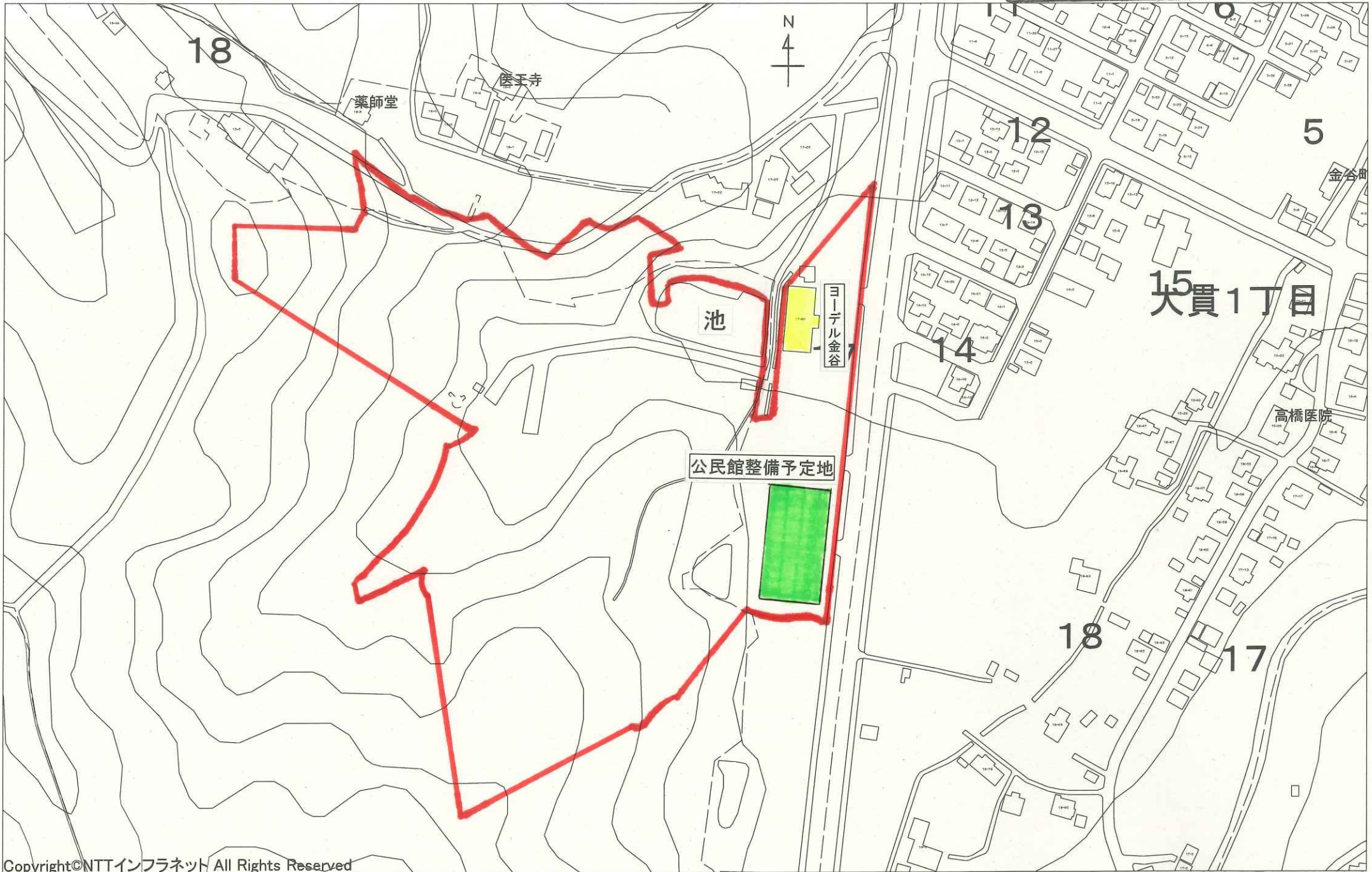
1月31日(水)午後6時～ 福祉交流プラザ 第1会議室

第9回金谷区地域協議会

2月28日(水)午後7時～ 福祉交流プラザ 第1会議室

株式会社ミーナハライペとの意見交換会での意見 及び 協議の集約の方向（案）

意見交換の項目（浅見氏の提案）	意見内容	協議の集約の方向（実現の方策）
金谷地区公民館／ヨーデル金谷を中心とした 手作り公園造成	誰が公園の運営、管理を担う主体となるのか議論していくべきである。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での解決に向けた活動（ヨーデル金谷ファンクラブ？） ・意見書の提出（公園の管理、運営等について）
	BMX場の管理について、市から「地域の合意がなければBMX場を一般開放することは難しい」と言われている。（浅見氏）	
	軽食をテイクアウトして外の公園で食べられるとよい。	
	通年で花が咲いている公園にしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見書の提出（公園の整備について）
	雨が降っても靴が土で汚れない設計にしてほしい。	
	市や公民館と連携して事業展開していくべきである。	
ヨーデル金谷パンフレット作成	金谷地域歴史観光マップの内容を参考にすることは差し支えない。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での解決に向けた活動
	観光マップについては、金谷観光協会に相談するとよい。	
レルヒ少佐やスキーにまつわる昔の写真を館内展示	昔の高田や直江津の写真も展示してみたい。（浅見氏）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での解決に向けた活動
地域子どもクリスマス会実施	子ども会主催で開催した事例がある。メニューをアレンジし、小さい子どもが大人になったらまた来店してほしいという思いで料金を設定している。（浅見氏）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での解決に向けた活動
フリーランス事業者を集めたイベント開催		
農産物の無人販売	売り物を集めるのが難しい。金谷区の農産物だけでは通年での販売はできない。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での解決に向けた活動 ・地域独自の予算の活用（イベント等の開催）
	通年ではなく年に数回、季節限定のイベント性のある物産販売でもよい。	
	若者の地域活動団体が実施しているフリーマーケットと連携するとよい。	
	無人販売にすると料金を支払わない人が多いので、イベントの際に販売する方がよい。	
ヨーデル金谷の植栽デザインをプロに委託	植栽を公民館と一体的に整備するとよい。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見書の提出（ヨーデル金谷の整備について）
	予算の都合で施工ではなく植栽の指導とアドバイスをいただくことを予定している。（浅見氏）	



ポイント：住民自ら何をすべきかを話し合い、「災害から大切な命を守る住民の意識向上」が最重要である。

金谷区の各町内会で実施している防災訓練の課題を整理し、その解決法を探るべく、取り組みを進めています。

1. 課題を大きく4つに分類 ～ 市 実施の防災訓練アンケートの結果をもとに分析 ～

(1)防災意識が低い(関心がない)

金谷区では長年、甚大な自然災害が発生していないことが背景にあり、住民の危機意識が低いのではないかとされる。

また、地域住民の高齢化や防災リーダーとなる人材が不足。防災訓練の参加者は高齢者が多く、乳幼児・小中学生、高校生などの若年層の参加が少ない現状から、意識向上に向けた取組、防災訓練の参加者を増やす取組が必要と考える。

(2)防災訓練のマンネリ化

防災訓練を実施する町内会の悩みとしては、訓練の企画・実施方法がわからないことや、内容のマンネリ化、参加者が限定され、増えて行かないことなどがある。そこで金谷区内で合同防災訓練を実施する町内をモデル地区とし、特に若年層の参加を促すことができるよう、目先を変えたイベント的な企画を盛り込むことを提案する。

(3)町内会の防災資機材の充実

町内会では、防災備品や備蓄品に要する資金がないこと、自主防災組織の拠点や保管場所に苦慮している現状があることから、地域活動支援事業等を活用した提案を積極的に促してはどうかと考える。

(4)防災士・防災リーダーのなり手がいない

『高校生防災士』などを新たなキーワードとして、積極的に若手防災リーダーの育成に取り組む事も、一つの手法ではないかと考える。

2. 課題解決に向けて

大貫4町内合同避難訓練(令和4年8月28日実施)の全面的な協力を頂き、体験型のイベントを協同企画するに至りました。

※活動費用の一部は、令和4年度の金谷区地域活動支援事業の補助を受けています。

- ・起震車(地震体験車)体験
- ・ダンボールベッド組立体験
- ・非常食体験
- ・濃煙体験
- ・消火器放水体験 など

3. 大貫4町内合同避難訓練を終えて 令和4年8月28日(日) 13:30～ 高田西小学校にて

開催当日、午後には天候も回復し、総勢286名の皆様に、様々な訓練・体験をして頂きました。

参加者や、ご視察を頂いた方々から、貴重なご意見・感想を頂きました。それらを踏まえ、先に掲げた4つの課題は、多くの皆様の共通認識・共通課題である事を再確認し、課題解決へのヒントを以下にまとめました。

【課題】	STEP1	⇒	STEP2	⇒	STEP3
人材不足 資機材不足 アイデア不足	指定避難所を核とした近隣町内会との連携 ⇒ 近隣地域への相互視察・参加・情報交換 防災関連業者さんとの連携		学校・学生との連携(ボランティア) 訓練・体験を通じ防災意識を高め自ら備える 資機材の融通・ネットワーク		実際の避難から避難所設営・運営 地域の核となる避難所・備品倉庫 資機材の更なる充実 若手防災リーダー育成(高校生防災士)

これらの取り組みを通じ、更なる『住民の防災意識向上』へ。金谷区地域協議会は、これからも考え続けます。

最後に 今回の大貫4町内合同避難訓練においても、大貫消防団の皆様より多大なるご支援・ご協力を頂きました。日ごろから地域の安心安全にご尽力を頂いている消防団ですが、人材不足が深刻であるとお話がありました。この事についても、地域一体で考えていければと感じました。

自主防災活動の実態調査結果
 (金谷区のデータを抜粋、上越市市民安全課調べ)

※令和 5 年 12 月 12 日時点

○回答提出数、回答率：令和 5 年度 21 町内会/28 75.0%
 令和 4 年度 26 町内会/28 92.9%

1 年度中の防災活動の実施状況

	R5 回答数	R4 回答数
実施した (実施予定)	12	18
実施していない (実施予定なし)	8	8
無回答	1	0

2 活動内容 (※複数回答可)

	R5 回答数	R4 回答数
避難訓練	10	9
初期消火訓練	7	8
避難行動要支援者関係訓練	5	3
講義、講話	5	2
防災啓発 (回覧等)	4	6
連絡網作成、更新	4	6
救護訓練	4	1
防災資機材点検、取扱訓練	3	13
避難所開設運営訓練	3	3
AED 訓練	2	2
その他	2	2
ハザードマップの確認	1	6
町内会危険個所調査	1	7
規約作成、更新	1	3
防災 DVD 視聴	1	0

3 来年度 (令和 6 年度) の防災活動の予定

	R5 回答数
実施する、検討中	13
実施しない	5
無回答	3